

## 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2006年3週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数

男女別

推移グラフ

保健所別

保健所別(定点当たり)

年齢階級別

- 病原体・抗体検査情報

週別検出状況

臨床診断名別検出結果

クローズアップ「インフルエンザ」

- 感染症豆知識「野兔病」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2006年3週》

### (全数把握対象疾患)

・今週報告された劇症型溶血性レンサ球菌感染症の症例は、発病翌日に死亡している。

区分	疾患	報告件数	情報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	1	フレキシネル菌	インドネシア
	腸チフス	2	血液より菌検出	インド
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	O157 VT1・VT2(2件)、O111 VT1(1件)	国内2件、インド1件
四類	A型肝炎	1		国内
	マラリア	2	熱帯熱	ナイジェリア、ガーナ
	レジオネラ症	1		国内
五類	アメーバ赤痢	2		不明
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		国内
	HIV感染症	10	無症候性キャリア7件、AIDS3件 推定感染経路:異性間性的接触2件、同性間性的接触8件	国内9件、不明1件
	ジアルジア症	1	推定感染経路:経口感染	国内
	梅毒	1	早期顕症梅毒 I 期	国内

(推定される感染経路及び感染地は医師の届出によるものである。)

### (定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

・インフルエンザの定点あたり患者報告数は16.83人で、流行発生注意報基準値(10.0人)を超えた。練馬区、町田、江戸川、西多摩の4保健所管内では、警報開始基準値(30.0人)を超えている。溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が急増した。

### (検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
インフルエンザ(疑い)		うがい液 5件	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	遺伝子
インフルエンザ	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
急性咽頭炎	0	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型	
上気道炎	4	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA香港(AH3)型、アデノウイルス	
咽頭結膜熱	1	鼻汁	アデノウイルス、RSウイルス	
急性肺炎	8	咽頭拭い液	RSウイルス	
急性肺炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
肺炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
発熱	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
全身性エリテマトーデス	14	血液	ヒトヘルペスウイルス7型	
不明発疹症	4M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
ムンプス	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
耳下腺腫脹	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
下痢	1	糞便	ノロウイルス	遺伝子	
感染性胃腸炎	81	糞便	ノロウイルス		
感染性胃腸炎	37	糞便	ノロウイルス		
急性胃腸炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	抗原	
		直腸拭い液	ロタウイルス		
ヘルパンギーナ*	6	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA10型	** 分離	
ヘルパンギーナ*	1	咽頭拭い液	アデノウイルス2型、 コクサッキーウイルスA群(型不明)		
ヘルパンギーナ*	1	糞便	アデノウイルス2型		
		咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群(型不明)		
急性胃腸炎	5	糞便	アデノウイルス2型		
細気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス		
細気管支炎	不明	咽頭拭い液	RSウイルス		
副鼻腔炎	8	咽頭拭い液	肺炎球菌血清型6型(ペニシリン耐性)		
腸チフス#	33	菌株(血液)	チフス菌		生化学的性状 &血清型試験

\*平成17年9月に搬入された検体      \*\*遺伝子検査で報告済みの検体を含む。  
#全数把握対象疾患の報告症例からの検体

#### 腸管出血性大腸菌 菌株検査情報

血清型	産生毒素			合計
	VT1	VT2	VT1・VT2	
O157		1	2	3

#### インフルエンザ(集団事例)検査情報

施設	検査試料数	陽性数	インフルエンザウイルス			その他
			AH1(Aソ連)	AH3(A香港)	B	
小学校(4校)	17	14	14(4校)			
小学校(6校)	24	20		20(4校)		

#### ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス		ロタウイルス	その他
			G I	G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	170	34		34		

## 定点医療機関・保健所からのコメント

定点医療機関からのインフルエンザ情報を表にまとめました。

管轄保健所	A型	B型	未検査・不明	管轄保健所	A型	B型	未検査・不明
台東	23	1		中野区	8		
	27				5		
墨田区	49			西多摩	92	1	
	1				50		
大田区	21			南多摩	87		
	19				10		
	5			9		3	
	16						
	9						

中野区保健所：咽頭結膜熱の報告は、アデノウイルス陽性の咽頭炎と結膜熱を合併した児です。  
八王子保健所：今週になってインフルエンザが急増しました。(7名→26名)

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2006年3週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		52週	1週	2週	3週	年累計	3週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群						( )	( )
	痘そう						( )	( )
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ	1					1	3
	細菌性赤痢			2	1	3	11	28
	ジフテリア							
	腸チフス		1		2	3	3	4
	パラチフス							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1		1	3	4	15	36
四類	E型肝炎						(1)	(1)
	ウエストナイル熱						( )	( )
	A型肝炎			1	1	2	(6)	(8)
	エキノコックス症						4	4
	黄熱							
	オウム病			1		1		2
	回帰熱							
	Q熱							
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ						( )	( )
	コクシジオイデス症							
	サル痘						( )	( )
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病						1	2
	デング熱						2	2
	ニパウイルス感染症						( )	( )
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症						( )	( )	
マラリア		2		2	4	1	3	
野兔症						( )	( )	
ライム病								
リッサウイルス感染症						0	0	
レジオネラ症				1	1	3	12	
レプトスピラ症						( )	( )	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	1	2	2	5	3	14
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	3					2	6
	急性脳炎						( )	(1)
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		1	3	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1	2	1	4
	後天性免疫不全症候群	6		12	10	22	7	35
	ジアルジア症				1	1	2	7
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	1
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	1	1	1	3	5	16
	破傷風							2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		1			

2006/01/30集計

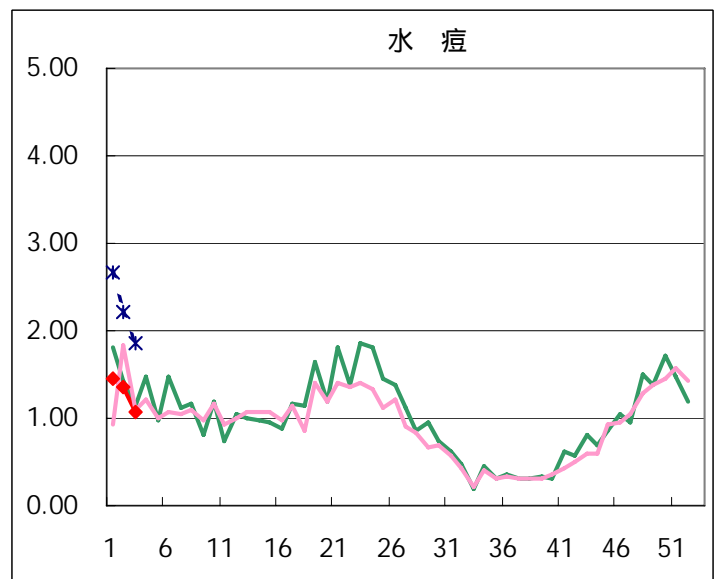
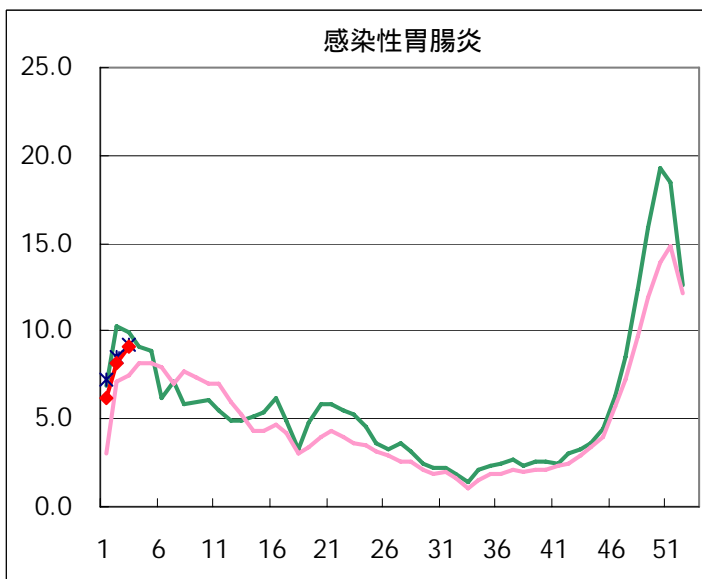
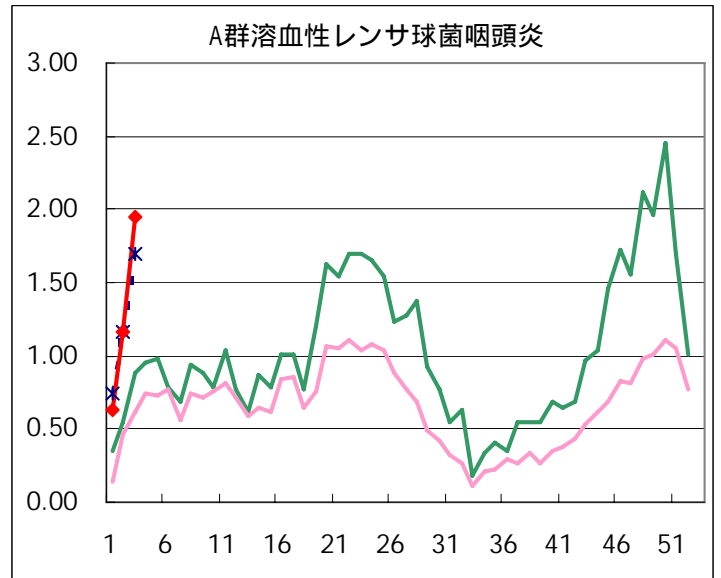
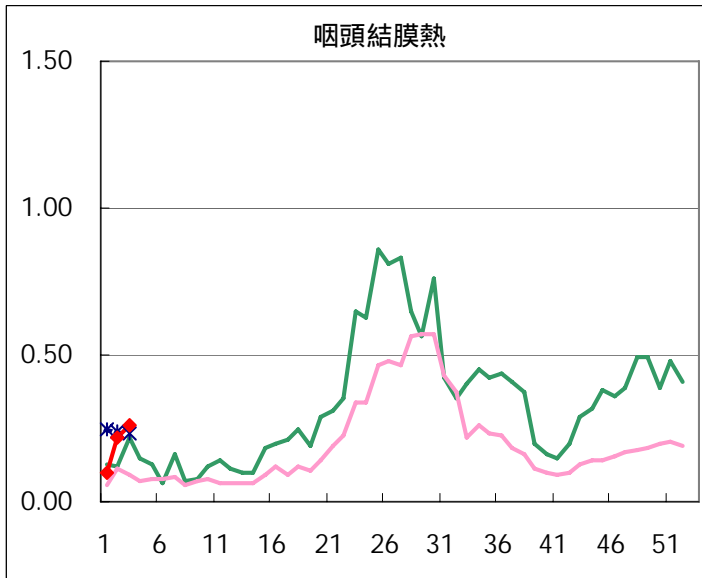
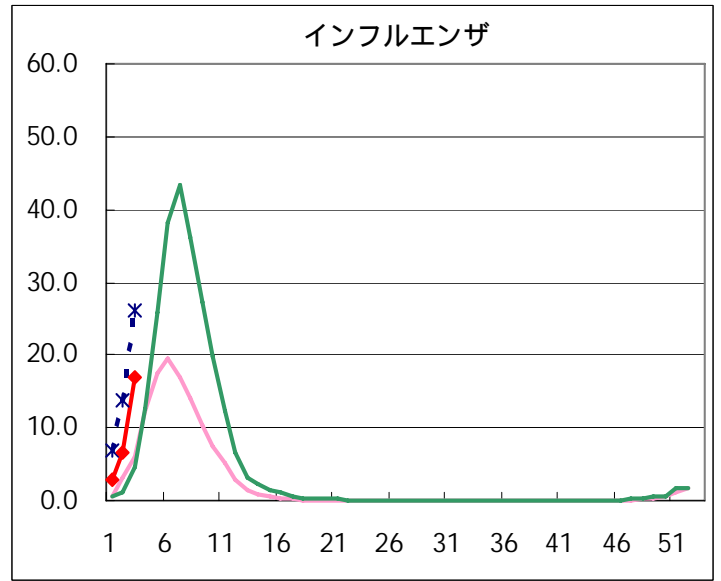
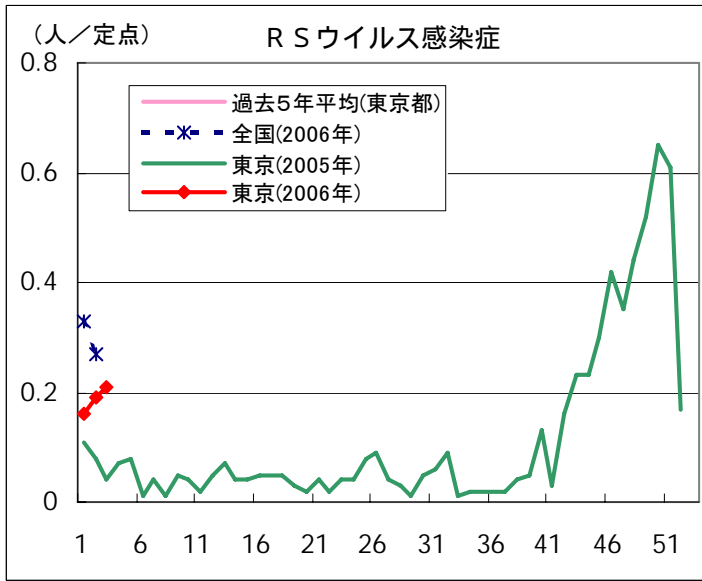
(カッコ内の数値は2週分)

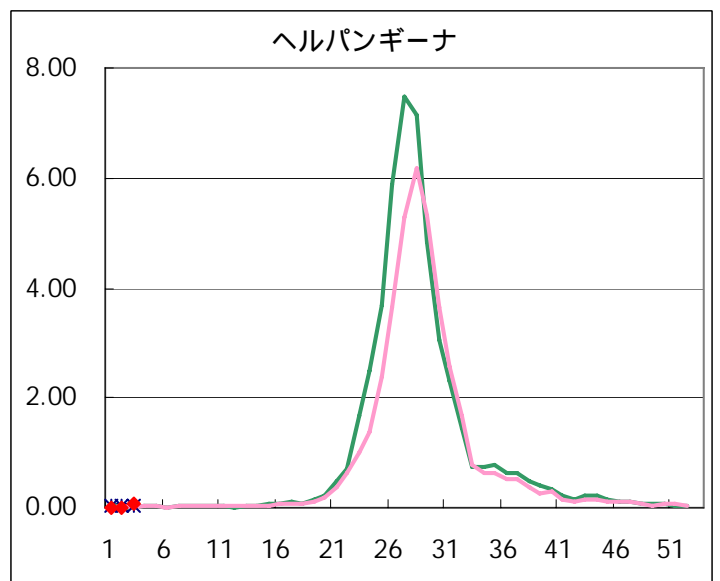
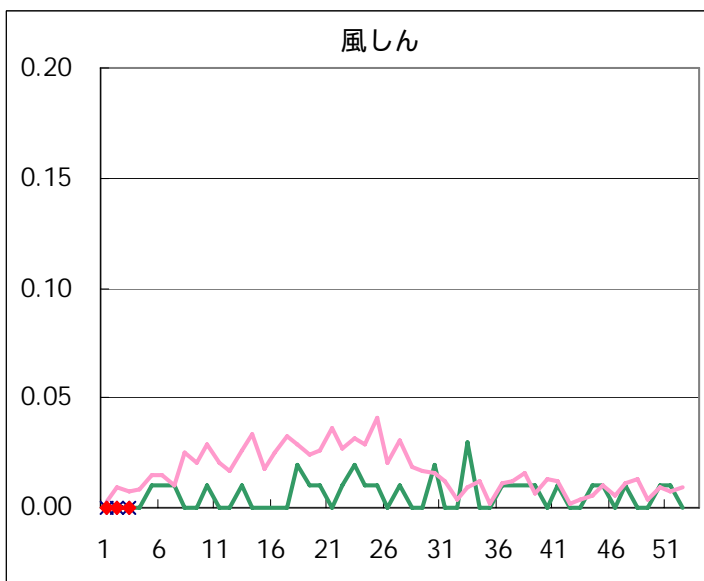
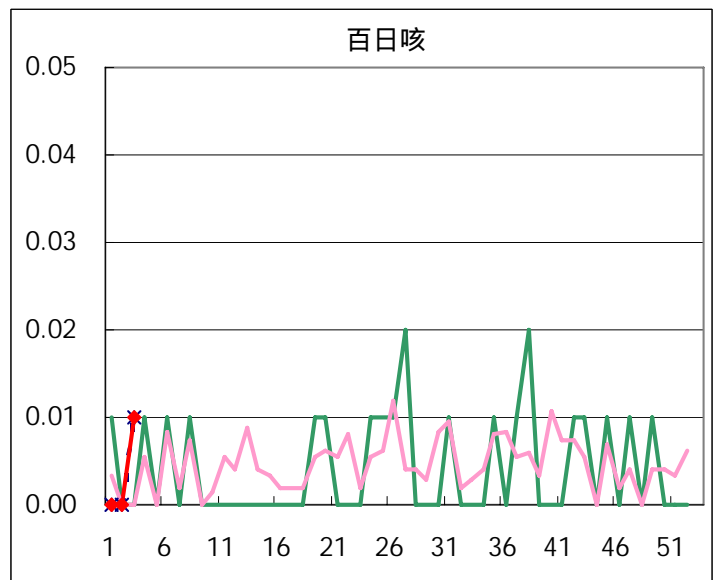
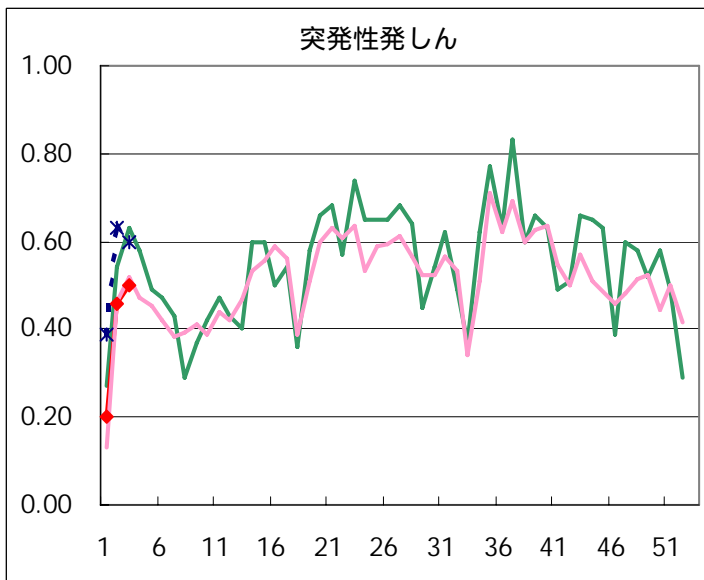
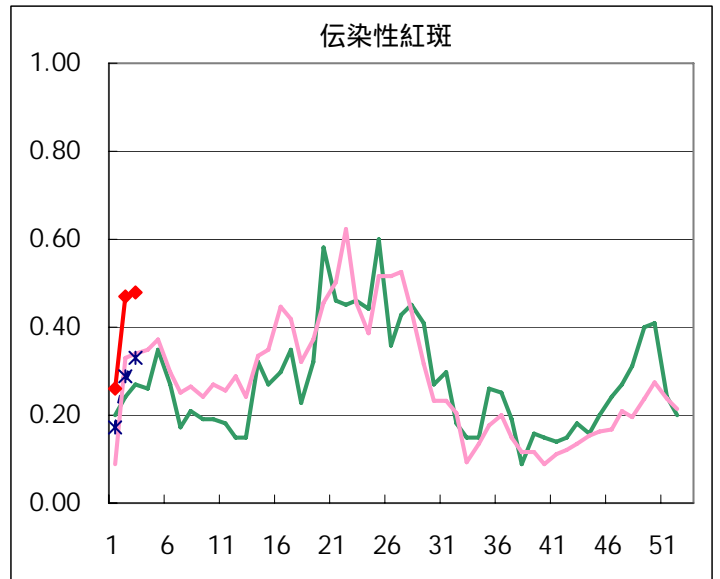
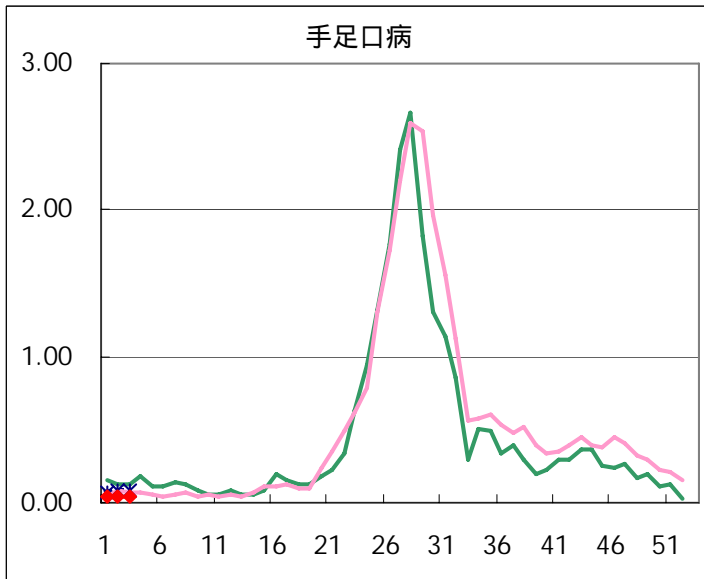
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2006年3週

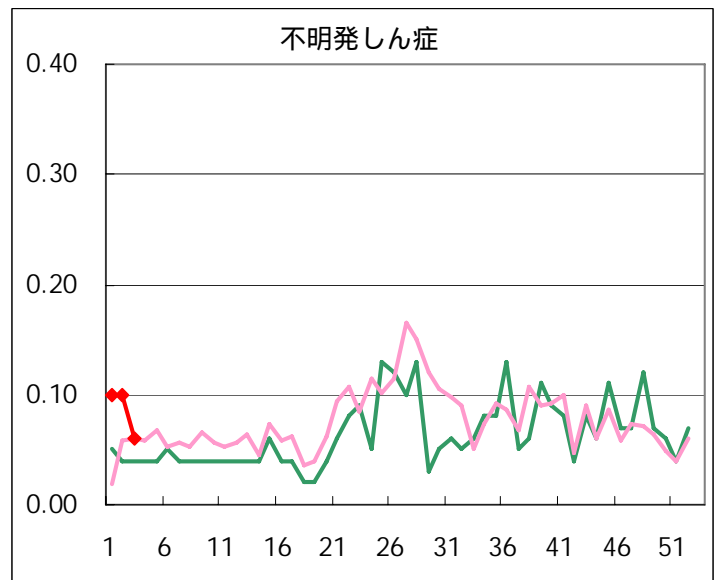
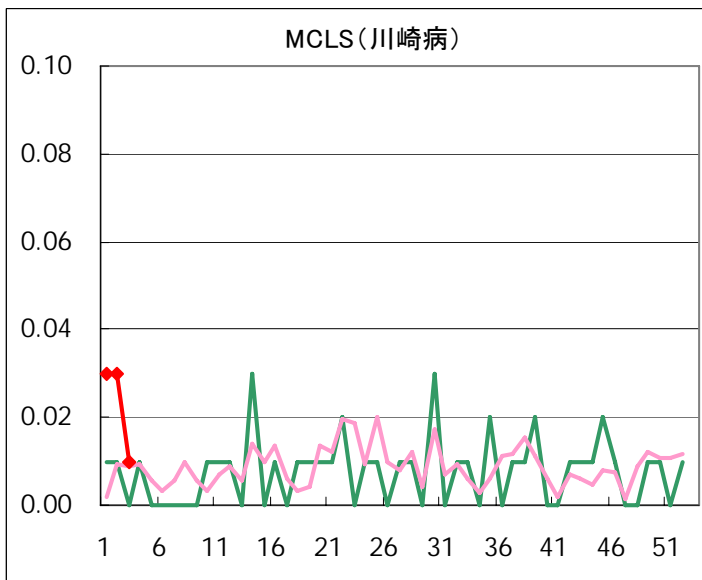
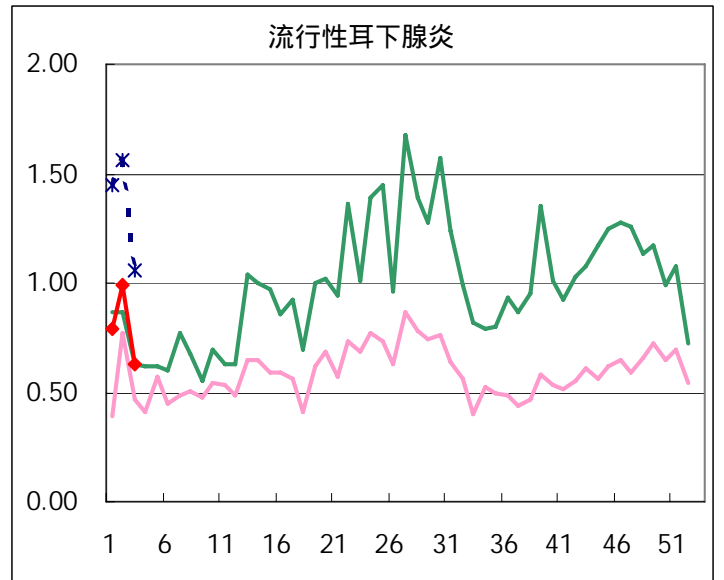
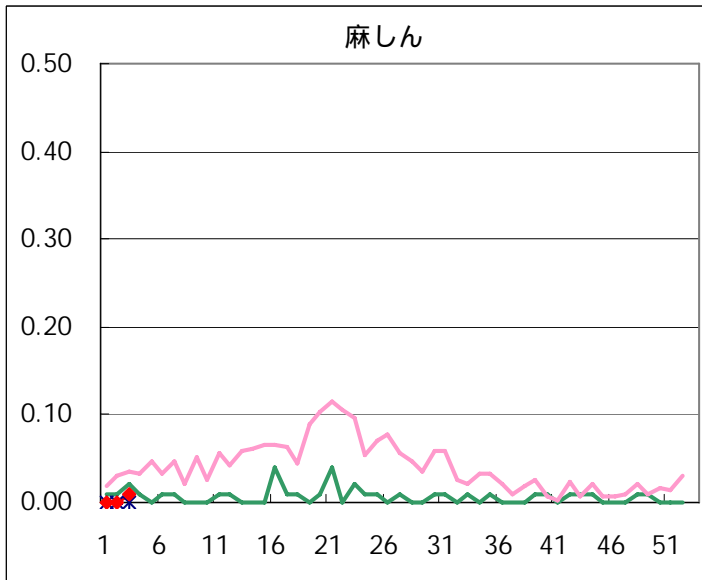
疾病名	性	2005年	2006年			4週合計	年累計
		52	1	2	3		
RSウイルス感染症	男	11	10	17	18	56	45
	女	13	13	10	12	48	35
インフルエンザ	男	162	261	585	1,519	2,527	2,365
	女	159	253	604	1,476	2,492	2,333
咽頭結膜熱	男	32	11	13	19	75	43
	女	26	3	18	18	65	39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	75	50	74	145	344	269
	女	70	40	92	132	334	264
感染性胃腸炎	男	917	430	562	638	2,547	1,630
	女	877	447	597	654	2,575	1,698
水痘	男	100	91	99	86	376	276
	女	74	117	92	66	349	275
手足口病	男	4	3	3	3	13	9
	女		3	3	3	9	9
伝染性紅斑	男	14	22	31	37	104	90
	女	14	15	36	31	96	82
突発性発しん	男	19	13	36	40	108	89
	女	22	16	30	31	99	77
百日咳	男						
	女				1	1	1
風しん	男						
	女						
ヘルパンギーナ	男	6	1		3	10	4
	女	1	1		5	7	6
麻しん(成人麻しんを除く)	男				1	1	1
	女						
流行性耳下腺炎	男	51	51	65	45	212	161
	女	51	61	76	44	232	181
不明発しん症	男	2	6	9	4	21	19
	女	8	8	5	4	25	17
MCLS	男	1	1	3	2	7	6
	女		3	1		4	4
急性出血性結膜炎	男						
	女						
流行性角結膜炎	男	8	4	8	3	23	15
	女	3	2	1	3	9	6
細菌性髄膜炎	男			1		1	1
	女						
無菌性髄膜炎	男			1		1	1
	女	1				1	
マイコプラズマ肺炎	男	3	1	3	2	9	6
	女		1			1	1
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女						
成人麻しん	男						
	女						

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2006年3週現在

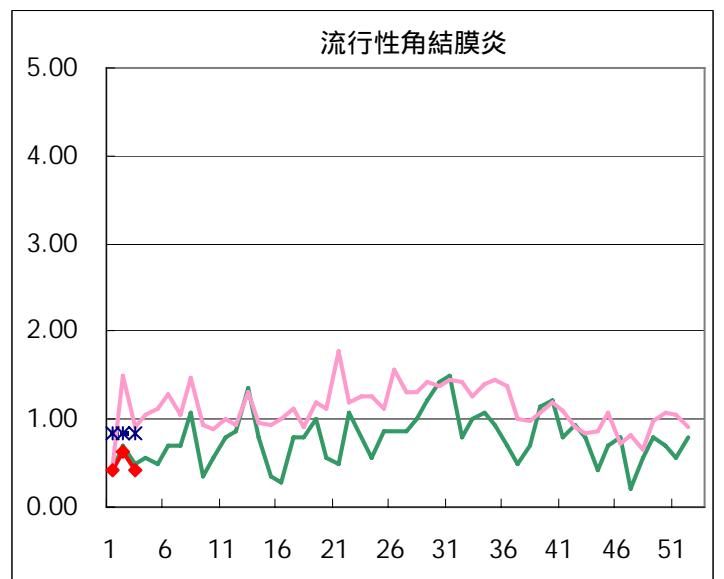
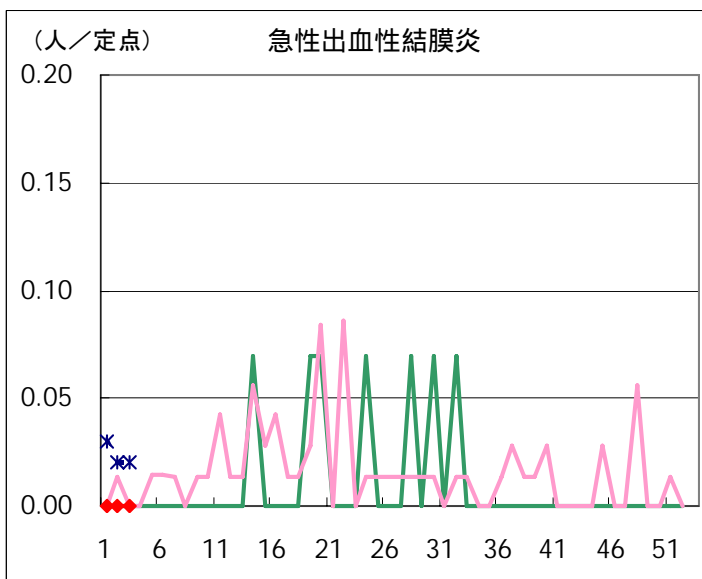
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





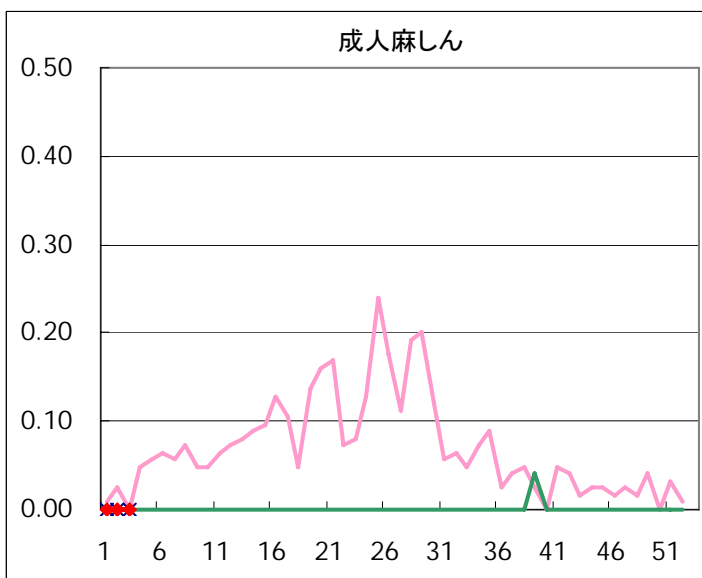
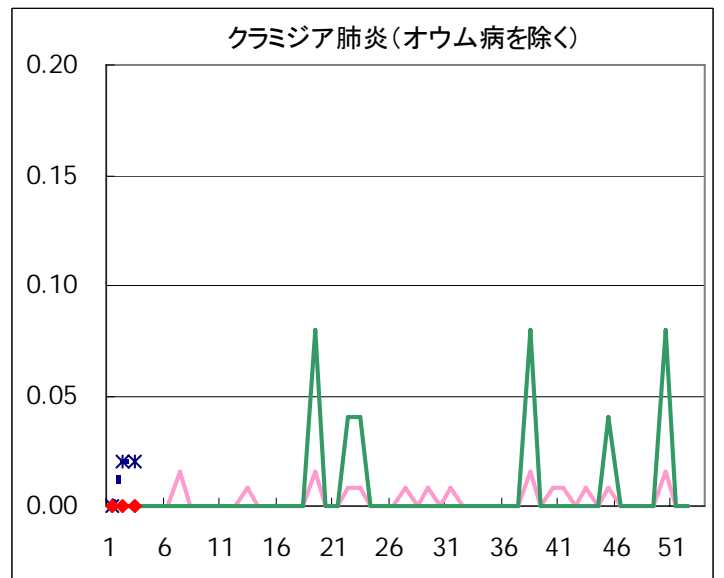
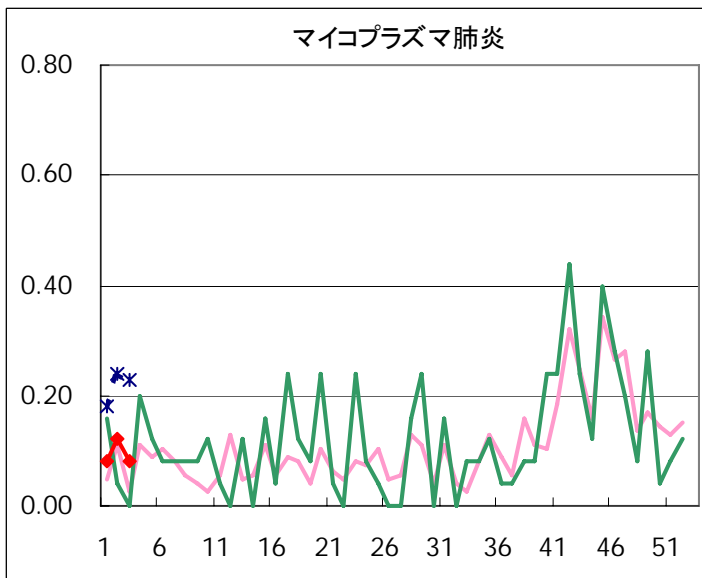
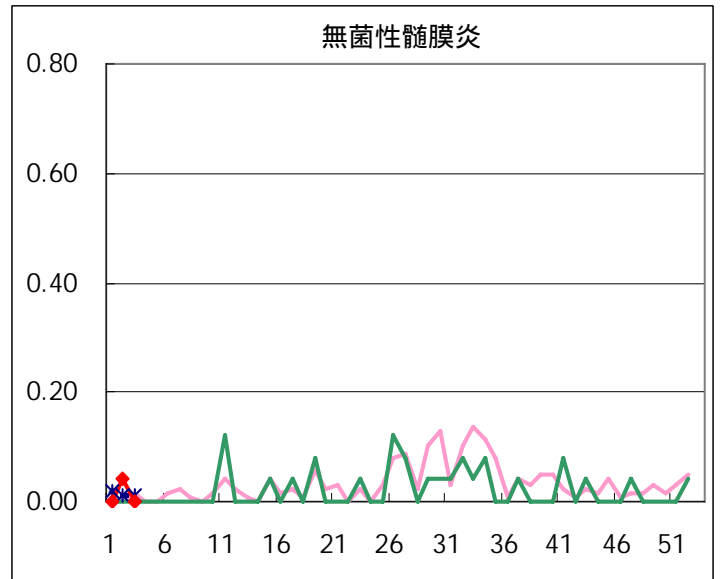
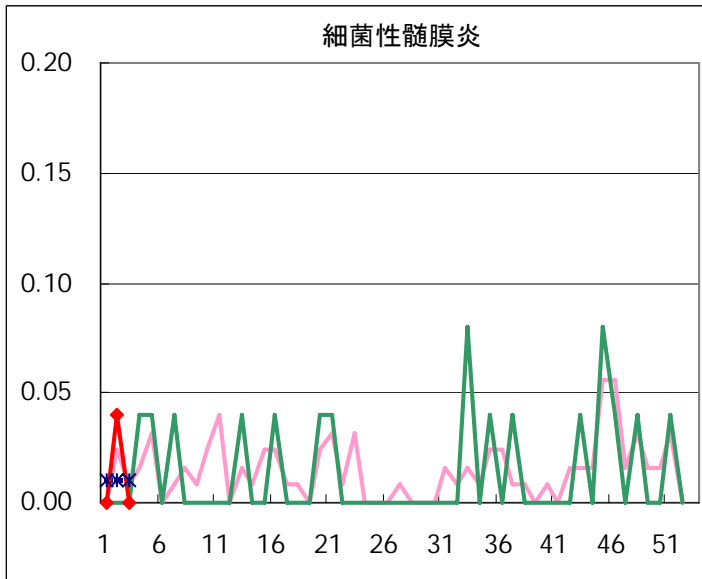


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】 2006年3週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		11		4	3	2				
中央区		51		1	5	1	1			
みなと	6	41	3	10	46	2		6	1	
新宿区		84		5	39	2			1	
文京		37		1	9	2		1		
台東	5	57	2	4	24	5	1	2	1	
墨田区		77		7	16	2			1	
江東区		48		8	45	3			4	
品川区	2	95	2	8	81	5	1		5	
目黒区		28			6			1	1	
大田区	3	167	2	25	126	8	2	5	9	
世田谷		79		4	75	6		9	5	
渋谷区		52		6	46	3		3		
中野区	1	145	1	4	40	2		1		
杉並		165		8	90	4		3	2	
池袋		40			13	1			3	
北区	1	125		8	34	8		5	5	
荒川区		60	3	15	16	10		1	1	
板橋区		77		4	33	2		3		
練馬区		258	1	8	48	10		3	6	
足立	1	63		5	32	3		1		
葛飾区		100		12	38	12		14	4	
江戸川		154	19	47	38	7			1	
西多摩		211	1	5	36	6			1	
八王子		67		17	23	11		3	1	
南多摩	2	70		3	24	5				
町田		100		13	66	6	1		5	
多摩立川		121		2	53					
多摩府中	1	205		13	65	9		2	6	
多摩小平	8	186	3	26	119	15		4	8	1
島しょ		21		4	3			1		

東京都合計	30	2,995	37	277	1,292	152	6	68	71	1
定点当り報告数	0.21	16.83	0.26	1.95	9.10	1.07	0.04	0.48	0.50	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】 2006年3週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田		1						1	22
中央区				1					60
みなと				1		3	2		121
新宿区				3		1	4		139
文京				2					52
台東		3							104
墨田区				2					105
江東区				1		1			110
品川区		1		7					207
目黒区									36
大田区		2		5					354
世田谷		1		3			1		183
渋谷区				3					113
中野区									194
杉並				2					274
池袋				1					58
北区				7					193
荒川区				1		1			108
板橋区			1	4					124
練馬区				8					342
足立									105
葛飾区				9					189
江戸川				1					267
西多摩				6					266
八王子				5			1		128
南多摩				3					107
町田				3					194
多摩立川									176
多摩府中				1				1	303
多摩小平				10					380
島しょ									29

東京都合計	-	8	1	89	-	6	8	2	5,043
定点当り報告数	-	0.06	0.01	0.63	-	0.43	0.06	0.01	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年3週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		2.20		1.00	0.75	0.50				
中央区		12.75		0.33	1.67	0.33	0.33			
みなと	1.00	5.86	0.50	1.67	7.67	0.33		1.00	0.17	
新宿区		12.00		0.83	6.50	0.33			0.17	
文京		9.25		0.33	3.00	0.67		0.33		
台東	1.67	14.25	0.67	1.33	8.00	1.67	0.33	0.67	0.33	
墨田区		19.25		2.33	5.33	0.67			0.33	
江東区		12.00		2.67	15.00	1.00			1.33	
品川区	0.33	13.57	0.33	1.33	13.50	0.83	0.17		0.83	
目黒区		7.00			2.00			0.33	0.33	
大田区	0.33	16.70	0.22	2.78	14.00	0.89	0.22	0.56	1.00	
世田谷		8.78		0.50	9.38	0.75		1.13	0.63	
渋谷区		10.40		1.50	11.50	0.75		0.75		
中野区	0.17	20.71	0.17	0.67	6.67	0.33		0.17		
杉並		23.57		1.33	15.00	0.67		0.50	0.33	
池袋		6.67			2.60	0.20			0.60	
北区	0.25	25.00		2.00	8.50	2.00		1.25	1.25	
荒川区		20.00	1.50	7.50	8.00	5.00		0.50	0.50	
板橋区		11.00		0.67	5.50	0.33		0.50		
練馬区		43.00	0.20	1.60	9.60	2.00		0.60	1.20	
足立	0.25	12.60		1.25	8.00	0.75		0.25		
葛飾区		20.00		3.00	9.50	3.00		3.50	1.00	
江戸川		30.80	4.75	11.75	9.50	1.75			0.25	
西多摩		30.14	0.20	1.00	7.20	1.20			0.20	
八王子		22.33		8.50	11.50	5.50		1.50	0.50	
南多摩	0.67	17.50		1.00	8.00	1.67				
町田		33.33		6.50	33.00	3.00	0.50		2.50	
多摩立川		15.13		0.33	8.83					
多摩府中	0.10	15.77		1.30	6.50	0.90		0.20	0.60	
多摩小平	1.33	23.25	0.50	4.33	19.83	2.50		0.67	1.33	0.17
島しょ		10.50		4.00	3.00			1.00		

東京都合計	30	2,995	37	277	1,292	152	6	68	71	1
定点当り報告数	0.21	16.83	0.26	1.95	9.10	1.07	0.04	0.48	0.50	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2006年3週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田		0.25						0.25
中央区				0.33				
みなと				0.17		3.00	0.33	
新宿区				0.50		0.50	0.67	
文京				0.67				
台東		1.00						
墨田区				0.67				
江東区				0.33		1.00		
品川区		0.17		1.17				
目黒区								
大田区		0.22		0.56				
世田谷		0.13		0.38			0.13	
渋谷区				0.75				
中野区								
杉並				0.33				
池袋				0.20				
北区				1.75				
荒川区				0.50		1.00		
板橋区			0.17	0.67				
練馬区				1.60				
足立								
葛飾区				2.25				
江戸川				0.25				
西多摩				1.20				
八王子				2.50			0.50	
南多摩				1.00				
町田				1.50				
多摩立川								
多摩府中				0.10				0.10
多摩小平				1.67				
島しょ								

東京都合計	-	8	1	89	-	6	8	2
定点当り報告数	-	0.06	0.01	0.63	-	0.43	0.06	0.01

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2006年3週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	4	7			7	6			5
～1歳	10	49	1		44	8			24
1歳	10	115	6	5	144	40	1		40
2歳	2	141	6	13	112	24	2	2	1
3歳	2	197	8	31	101	16	2	6	1
4歳		235	4	38	112	19		6	
5歳		250	3	40	106	18		20	
6歳		191	5	44	79	6	1	8	
7歳		201	1	21	62	4		10	
8歳		151	3	18	56	2		9	
9歳		105		15	38	5		2	
10～14歳		357		19	134	2		4	
15～19歳		157		6	51	1			
20～29歳	2	210		27	246	1		1	
30～39歳		305							
40～49歳		158							
50～59歳		81							
60～69歳		52							
70～79歳		28							
80歳以上		5							
合計	30	2,995	37	277	1,292	152	6	68	71
先週比	3	1,806	6	111	133	-39	0	1	5

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月									
～1歳			1		1			1	
1歳			5		6			2	1
2歳			2	1	7			2	1
3歳					16			1	
4歳					15			2	
5歳					8				
6歳					9				
7歳					4				
8歳	1				4				
9歳					5				
10～14歳					8				
15～19歳					1				
20～29歳					5		1		
30～39歳							2		
40～49歳							3		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	1	-	8	1	89	-	6	8	2
先週比	1	0	8	1	-52	0	-3	-6	-1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年48週～2006年3週

検出病原体・抗体		検体採取週							合計	
		2005年					2006年			
		48	49	50	51	52	1	2		3
ウイルス	アデノ	15	7	6	4	4	9	6	9	60
	ライノ		1					1		2
	ポリオ			2		1	1			4
	コクサッキーA群								3	3
	コクサッキーB群									
	エコー			1		1	1	1		4
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	17	4	3	1		1			26
	単純ヘルペス							3		3
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	1	2	3		5	4	2	2	19
	EB	3	1			1		2		7
	サイトメガロ									
	ムンプス	1	2	1	1	2	3	1		11
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19					1				1
	RS	2	7	3	5	7	9	1	6	40
	ノロ	107	61	85	214	2	46	120	37	672
	ロタ		1	1				3	1	6
インフルエンザAソ連型			3				13	14	30	
インフルエンザA香港型		5	5	3	1	2	35	28	79	
インフルエンザB型										
デング										
その他のウイルス		1							1	
細菌	カンピロバクター			1						1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌	3		4				1	3	11
	その他の腸管系病原菌	3					1	2	1	7
	溶血性レンサ球菌		6				5	8	2	21
	MRSA		1	4					1	6
	MSSA									
	その他の細菌		2				2		1	5
その他の病原体			1							1

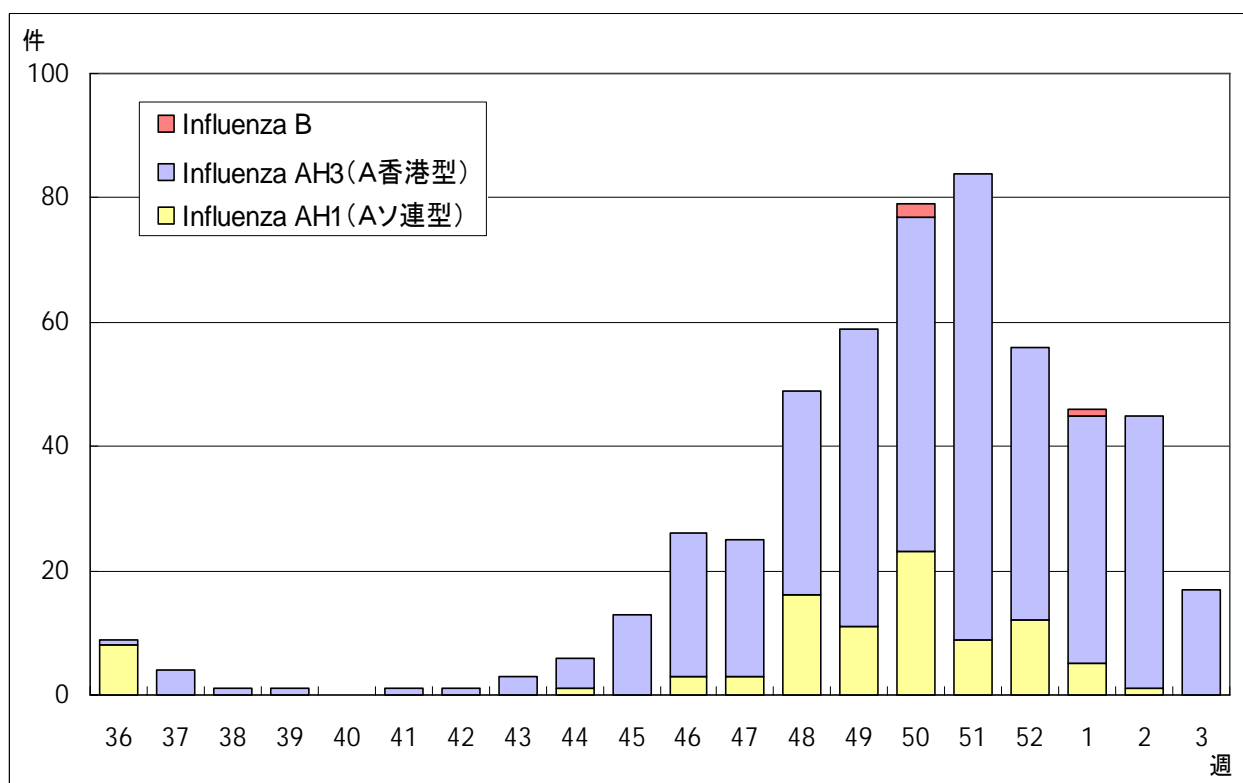
臨床診断名別検出結果 2005年48週～2006年3週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	288	32	69	1744	6	2			1			21	11	3	1		162	
アデノ		6	10	12	4	2		2	2			3	5				14	60
ライノ												1					1	2
ポリオ				4														4
コクサッキーA群									3									3
コクサッキーB群																		
エコー												1					3	4
エンテロ71																		
その他のエンテロ		5	5	2								4	1	1			8	26
単純ヘルペス												1					2	3
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7		1	1	3								4					10	19
EB		2										1	2				2	7
サイトメガロ																		
ムンプス					1								10					11
麻疹																		
風しん																		
パルボB19																	1	1
RS	2	4	23	1		1						2					7	40
ノロ		1	1	669								1						672
ロタ				6														6
インフルエンザAソ連型	29																1	30
インフルエンザA香港型	77	2																79
インフルエンザB型																		
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌				1													10	11
その他の腸管系病原菌				1													6	7
溶血性レンサ球菌				3													18	21
その他の病原体			1														12	13
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	



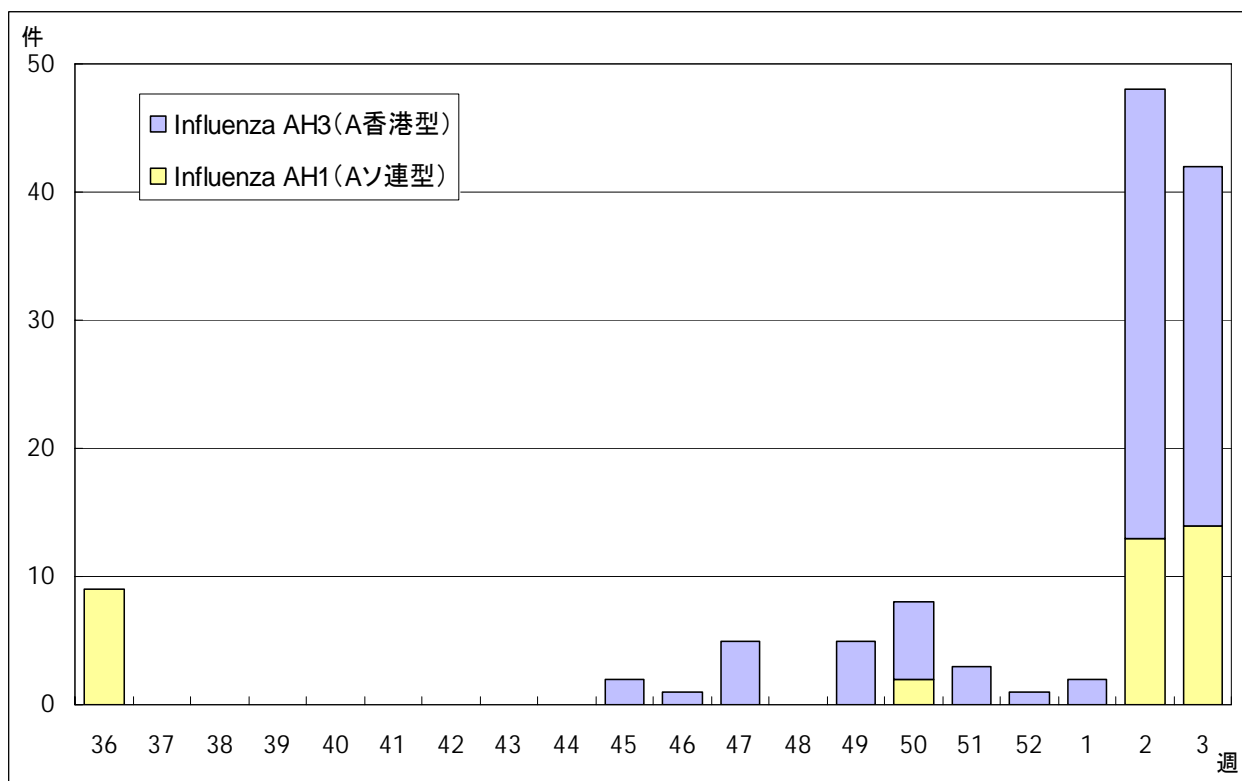
# クローズアップ (インフルエンザ)

2005 - 06シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (全国)



IASR 病原微生物検出情報 (2006年1月25日現在報告数)

2005 - 06シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (東京都)



ウイルス研究科・多摩支所微生物研究科

## <感染症豆知識>

### 野兎病

野兎病は大原病とも言われ、主に野生の動物が糞る人獣共通感染症である。北半球（北緯30度以北）で発生が見られ、日本ではダニの活動する5月と狩猟期の12月、特に東北や関東地方で発生する。1998年までに1375例が報告され、主に野山での野兎との接触による。近年ではアウトドアライフ中に媒介昆虫から、また感染犬などからの感染が問題となっている。米国では「生物兵器として特に留意すべき病原体」にリストされている。米国でのプレーリードック間の流行は、日本の動物輸入規制の一因となった。野兎病菌は、グラム陰性の小桿菌で、非運動性、無芽胞で極染色性を示す。亜種の *T. tularensis* は北米に分布する強病原性菌である。*T. holarctica* は北米を含む広い地域に分布し、日本では本亜種が分布し、ノウサギ類やハタネズミ類が主な保菌動物である。しかし、ウサギやヒトに対しての病原性は弱い。ヒトは感染動物に触れたり、本菌を保有するダニ、蚊、アブなどによる刺咬、また汚染食品の飲食で感染する。潜伏期は2～10日。発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛、波状熱となって長引く。多くの患者は腋窩や肘部の表在リンパ腫が診られる。細菌の侵入門戸により臨床症状は異なり、日本では皮膚に潰瘍を形成する潰瘍リンパ節型が最も多く、その他リンパ節型、チフス型等がある。治療は、ストレプトマイシン、テトラサイクリンの経口投与を行う。

ウサギ類や齧歯類は本菌に感受性が高く、敗血症を起こして死亡する。これらの動物は、ヒトや各種動物、ダニなどの節足動物の感染源となる。

(文責・池田忠生)